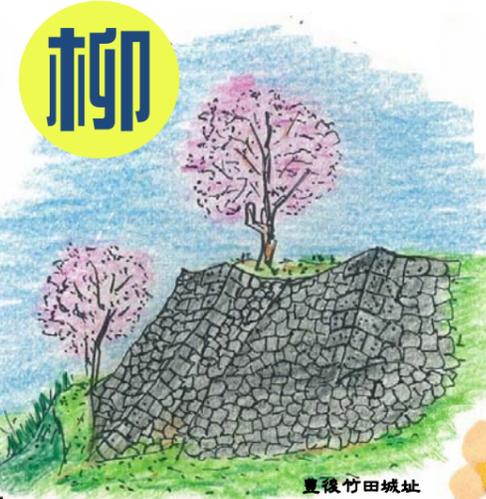


晴耕雨読 38

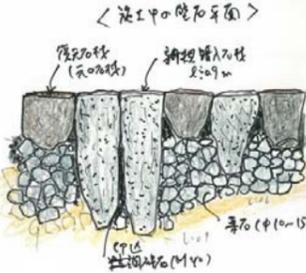
発行:株式会社 建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量業登録
〒869-1234
熊本県菊池郡大津町引水215-1(技術研究所)
本社:熊本市/八代支店/合志営業所
TEL:096-293-4400/FAX:096-293-4885
E-mail:kenpro@muc.biglobe.ne.jp
URL:http://kenpro.me

Vol. 38 APR 2015 seikoudoku

春を迎え、木々の緑に心躍るこの頃、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？春といえば桜や三輪等が一気に花咲きます。また旬の食べ物が美味しい季節です。



豊後竹田城址



＜施工時の状況＞



山女魚

良い仕事してますね！！

左スケッチは天草市楠浦眼鏡橋壁石補修工事で実際に使用した下浦石材の平面図。壁石の安定に長さ約90cmの石材を要所に配置し安定を図る。通常ならコンクリート固定だが文化財補修では厳禁。なので、通常の石材長の3倍の石材を空積みの手作業で積上げた施工事例です。この方法だと1~200年は大丈夫。今、必要なのは、石工技術者の早期育成。H/N

春ヤマメ2015・4・4

春といえば春ヤマメ。この時期のヤマメは、秋の産卵を終え、深い淵で体力を回復させて春雨と共に淵から瀬にエサを求めて活発に動き出す。釣行のおじさんに天然河岸の小枝から綺麗な声のミソサザエが挨拶、さらに周辺の木々の若葉が踊りだし歓迎する。五家荘の山々は、直に山笑う時期を迎えます。H/N



春の草花 ユキノシタ コケ トウカゲツツジ ミツマタ

春の草花あそび

春といえば花見ですが、足元にも春の草花が沢山芽を出しています。シロツメクサで作る花冠や、オオバコずも、マメ笛、ハート型の小さな葉で音を鳴らすぺんぺん草、などなど…。子どもの頃に楽しんだ草花遊びのほとんどは春の草花でもあるんですね。

身近な環境を楽しむ

春爛漫!春の息吹を感じていますか？

パソコンの画面ばかりを眺めていますか？そんなあなたは、少し病気がかもしれませんよ。ソメイヨシノには、桜吹雪まで楽しませてもらい、次は里ざくら(八重桜)が見ごろを迎えます。ツツジ類もキリシマ系から咲き始め、大花のヒラド系、サツキツツジ系へと咲き移り、5月まで目を楽しませてくれます。この時期は目だけでなく、竹の子や山椒など旬の食材も味覚を楽しませてくれます。我が家に植樹した山椒は、毎年アゲハ蝶の幼虫に食べられ、枯れてしまっていますので仕方なく粉山椒で初物の竹の子を頂きました。突然ですが!!知ってますか？法律相談の話。隣りから生えてきた竹の子と隣から塀を超えてきた枝の柿の実が勝手に採って食べてよいのでしょうか？答え→民法233条(竹木の枝の切除及び根の切り取り)が適用されるようです。隣地に生えている植物については、根がはみ出した場合は自ら切ってもよい(筍は食べてもOK)ですが、越境した枝や実は(隣の所有物なので)自分で切るのではなく、相手に切ってもらわなければならない、というのが法律の定めです。A/T

絵画を楽しむ(シクラメン)



油絵を描き始めて5年。シクラメンは面白い花です。下向きに力いっぱい咲いています。N/S

Human Architectur

かわりゆく白川

熊本市の市街地を蛇行しながら南西に流下する白川は、2012年7月12日の九州北部豪雨による甚大な災害発生を契機として、急ピッチで大規模な河川改修が進められています。小碓橋下流の渡鹿地区も大幅な川の拡幅と堤防・水辺公園等が整備されて、癒される河川空間の出現とともに水際には現地採取等のゴロタ石を配置するなど親水性や生物等にも配慮した河川整備となっています。周辺堤内地の新しい町並みや白川支川の保田窪放水路の桜並木を見ながら明るく安全・安心な地域へ変貌した白川河川沿いの散策を楽しんでいます。B/I

祝 平山眼鏡橋復元

今の山鹿市平山に江戸末期の文久元年(1861年)に架設された平山眼鏡橋。県道改良により、解体され同市の博物館に保管。地元有志の声に山鹿市が事業化し、平成27年3月に完成。(右写真は若干22歳の石工ともゆき君)腰に気をつけ頑張ってる!! H/N



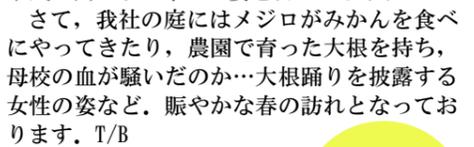
是非一度、平山へ足を運んで下さい! 平山眼鏡橋 完成



身近な農を楽しむ

さあ!!新年度のスタートですネッ

会社が小学校の裏に位置する我社は、季節の移り変わりを子ども達の声で感じる事もシバシバ…。つい先日、大きい男の子(6年生)がお母さんと少し距離をとって卒業式から帰る姿を目にしたと思えば、黄色帽子に大きなランドセルを背負い、両親に手を引かれて入学式へ向かう一年生の姿を目にします。さて、我社の庭にはメジロがみかんを食べにやってきました。農園で育った大根を持ち、母校の血が騒いだのか…大根踊りを披露する女性の姿など。賑やかな春の訪れとなっております。T/B



これが本場のヨッコリ!



身近な土木文化を楽しむ

ため池の役割を再認識

昨年度、防災・減災対策を見据えた県北部のため池一斉点検業務に携わりました。少子高齢化が進む中で、自然災害(豪雨・地震)によるため池の決壊に伴う被害想定区域の設定と池下流域の人家や公共施設等のデータベース化が必要とされています。そこで、通常使用する航空写真をさらに鮮明にするため、自社保有の無人飛行体(マルチコプター)で上空約250mから三つ子ため池を空撮。この方法は高所から高解像度で撮影するため、下流域の被害想定範囲が分かりやすく、住民説明等へ活用可能な成果として高い評価を得ることができました。今後、この無人飛行体は「災害地形調査・橋梁点検・航空オルソ図作成等」の多機能にわたる活躍が期待されます。T/M

標高930m高冷地の橋梁補修設計で感じたこと

冬の寒さが厳しい祖母山裾野の標高930mの荒廃河川に架かるRC床版橋の調査に係りました。調査段階で橋台基礎部と河床に大きな洗掘。原因は①河道が上下流に比べ、橋梁部が狭隘であること、②河床の地質が弱結凝灰岩のため凍害・侵食されやすいこと、③濁水期は水無川状態だが、大雨が降ると土砂や転石による侵食が進行すること、などが挙げられます。特に下部工の洗掘対策に帯工を、また、河床の侵食対策に床固工を提案計画しました。このことで林業関係者や登山者が安全に末永く利用して頂きたいと思っております。K/S

熊本の鋼橋(No.2) 白川に架かる橋—八城橋



6後間鋼単純桁橋

■後記:熊本県内には、スケッチや写真に残したい風景や美味しい・懐かしい郷土料理等が沢山あります。また気をつけて見るとビューポイントや歴史の重みを感じる文化的な重要景観などの資源が数多く残されています。上記の内の四文字「柳緑花紅」は、柳は緑ならず 花は紅ならずと逆の立場に立ち、もう一度見直すという意味合いです。今後も皆さんへ地域の良さや文化などを紹介していきたいと考えており、この晴耕雨読は10名の投稿者の協力を得て作成しました。

Rural environment

日本の和食が世界無形文化遺産登録 熊本の阿蘇が世界農業遺産登録

お知らせ♪
4月より晴耕雨読がホームページから閲覧できるようになりましたので是非!!ご覧ください♪♪♪
URL ↓
http://kenpro.me
ホームページTOP ↑

早くから日本文化を学ぶ



左写真の2人は小学校4年と2年の女の子。お茶に興味をもち、春から着物を着て本格的に稽古をスタート。

山の幸 海の幸
山の幸と海の幸をプツプツ交換!!
しいたけは、会社の裏で栽培しています

フットパスとは…

フットパスとは、イギリス発祥で小道を散歩するという意味です。現在、美里町が中心になって全国へ広がっています。平成25年度から【里モンプロジェクト】の一環として、地域の伝統文化や自然散策、高原野草、年末の餅つきなどと組み合わせて行っています。高原の空気・水・森林浴・土・里人のおもてなしにふれ「健康と癒しの里」を満喫できます。T/M



吉無田 フットパス



タケノコ シイタケ カラカブ

天然素材を有効利用した魚道の話

待ちに待った春が訪れ、趣味の一つのヤマメ釣りに行ってきました。ヤマメ釣りの極意は、ヤマメの性格を知り、その気持ちが解からないと釣果が期待できないそうです。さて、魚道設計に係った話をひとつ。提案した魚道は石材を主材料とし、適度な空隙、変化(深み、流れの変化、水深)を持たせた石造り階段型魚道で、地域性を考え岩野式魚型魚道を手作り模倣でプレゼン。これはわかり易いと好評。魚道計画では、対象魚の遡上、降河等を満足するだけでなく、デザイン性を持たせ話題性のある魚道として今後、地域活性化の一つとしてのシンボルに願っています。魚道整備では漁協関係者や釣り人等の意見を採り入れ、地域特性を象徴する一貫性のあるデザインが望まれます。K/N



岩野川模倣(鹿北)

白川の河口より上流へ5.3km遡った地点で、河川を南北に横切る市道に、6径間鋼単純桁橋(橋:217m)の八城橋が架かっている。幅員5.5mの車道にひっきりなしに車両が往来している。平成10年には下流側に側道橋が架けられている。右岸の橋の下には、幅70mの河川敷が広がり、グランドゴルフ場等に利用されている。完成は昭和47年で、築43年の橋であるが、これまでの維持管理により主桁およびその他の部材は非常に良好な状態であった。特に、排水型(垂れ流し型)の伸縮装置が健全な状態に維持され、支承部(線支承)周りがきれいに維持管理されており、大切にされていると感じた。橋脚の耐震補強も実施されており、今後30年は人々の生活を支えてくれると感じた。N/S